

VOICE

会員の声

♥ 3B体操協会（大阪）大迫テル子会長 協会を設立したのは、一九七一年。使用する三つの道具——ボール、ベル（空気枕）、ヘルター（ビニールのひも）の頭文字から「3B体操」と名付けました。ヨガのポーズを取り入れた自然な動きで、民謡、歌謡曲、ジャズ、ロックとさまざまな音楽に合わせて、仲間と楽しくできるのが特徴です。

愛好者は三十万人を越え、その九〇パーセントは三十代から六十代の主婦です。指導者も全国に千百人ほどいます。昨年六月には、一万六千人を集め、二十周年大会を盛大に行いました。

♥ ワコムバドミントンチーム（東京）

一九九〇年六月、埼玉に本社を置く電子機器メーカーのワコムが、女子のチームを結成しました。この四月に新入部員一人を迎え、現在は男子四人。平均年齢二十三歳の若いチームです。

監督は元世界チャンピオンの徳田敦子さん。男子チームの女性監督は前例がありません。

バドミントンは、バルセロナオリンピックから正式種目となりました。四年後のアトランタをめざして、清水保則主将を中心に、毎日、ウェートトレーニングを含む六時間の練習に励んでいます。

河野梨香（米国・ミシガン州）現 在、ミシガン州立大学の太学院でスポーツ心理学を勉強しています。

日本から送られてくる印刷物を拝見すると、日本のスポーツ界の状況が色々と見えてきます。例えばオリンピックの公式ユニフォームが新聞に発表されていましたが、女性のものは、「かわい子ちゃん」というイメージばかりが強調されているようで、知的な感じがしません。女性はとにかく、かわいい方がよい?ということなのでしょうか。

WSFジャパンの会員名簿を見ると、学生会員が少ないのが残念です。これから社会で活躍する学生にもっとアピールが必要だと思います。

♥ 高橋昭子（東京）四月二十四日か

ら二十六日まで、米国のコロラド州デンバーで開かれた、米国WSFの年次総会に出席しました。WSFジャパンからは、清和洋子さんと小笠原悦子さんも出席されました。

今回の会議には日本のほか、英国、カナダ、豪州、ニュージーランドからも参加者がおり、各団体の活動状況について報告がありました。これを機会に、各組織が連絡を密にとり、女性スポーツのネットワークをより広げていければと思います。

女性スポーツを応援しています。



スポーツビジネス総合シンクタンク

SPORTS 21^(R)